

令和7年度 学校推薦型選抜Ⅰ 小論文 【問題1】

— 医学部保健学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） —

〔出題意図〕

国は、働き方改革や過労死等防止対策推進などの施策を進めており、その一環として年次有給休暇の取得率向上も数値目標を掲げている。図は、労働者1人当たりの平均年次有給休暇取得率（企業規模別）である。企業規模に関わらず、その取得率は増加傾向であり、企業規模が大きいほど取得率は高い。このような年次有給休暇の取得率を通してその傾向と対策を述べさせることで、今後の人口減少化社会における医療介護現場の働き方を考える一助とするものである。

令和7年度 学校推薦型選抜Ⅰ 小論文 【問題2】

— 医学部保健学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） —

〔出題意図〕

自分の気持ちがどのように変化して現状に至ったかの過程や要因を理解し、その気持ちの変化をパターン化して照合することで他者の気持ちを理解することが可能になる。このことは、「心のモデルケースは、自分自身にしかありません」という文章からも理解できる。これらのことを理解して、自分の経験を交えながら表現できるかを問う。

入院中の患者は様々なストレスを受けており、自分の気持ちの整理が困難な場合が多い。我々はより良い医療を提供するために、何故現在のような心理状態になったのかを良く理解して対応する必要がある。他者の気持ちを理解することの難しさとその対処法を問うことで、理解力・表現力を問う。